

# 「学力向上を目指した ICT の効果的な活用に係る取組事例」

## 宮代町教育委員会

### 1 はじめに

本町は、各学校の PC 室に、児童生徒用の 2 in 1 型 PC が 40 台、職員室に持ち運び用の 2 in 1 型 PC が 10 台設置されている。小学校では各教室に 50 インチ液晶テレビが配備され、中学校では各学年で使用できる可動式の 50 インチ液晶テレビが配備されている。また、昨年度から「みらいスクールステーションメディアボックス」を導入し、授業で使用する画像や資料をテレビ画面に提示すること、Web ブラウザでインターネットにつなぎ動画などを視聴することができるようになった。

### 2 ICT 活用の視点

情報活用能力は学習の基盤となる資質・能力であり、情報活用能力を発揮させることにより、各教科における主体的・対話的で深い学びへとつながっていくと考える。そのため、教師の ICT 活用スキルを高め、ICT を効果的に活用できるようにするとともに、児童生徒の発達段階に合わせた指導を行い、ICT 活用において必要な力を、段階を追って確実に身に付けていく。

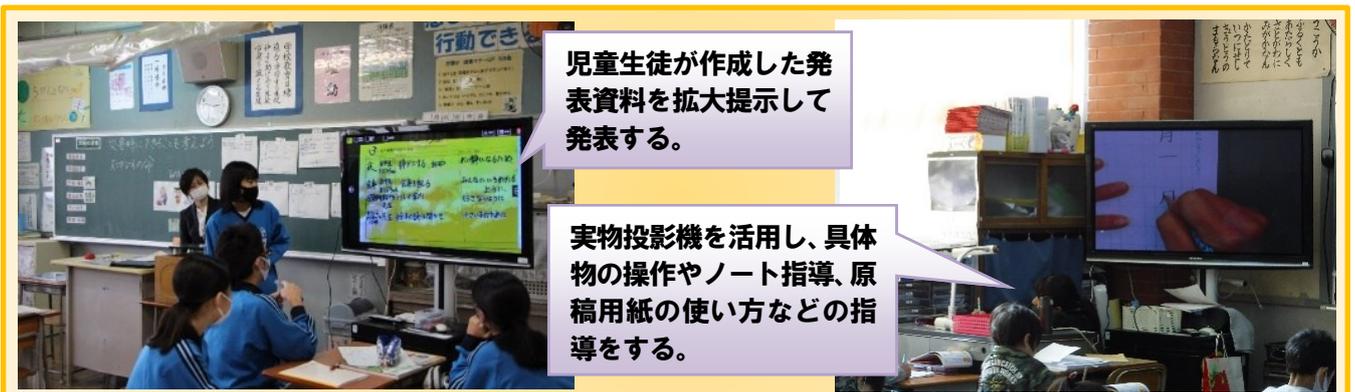
### 3 具体的な取組

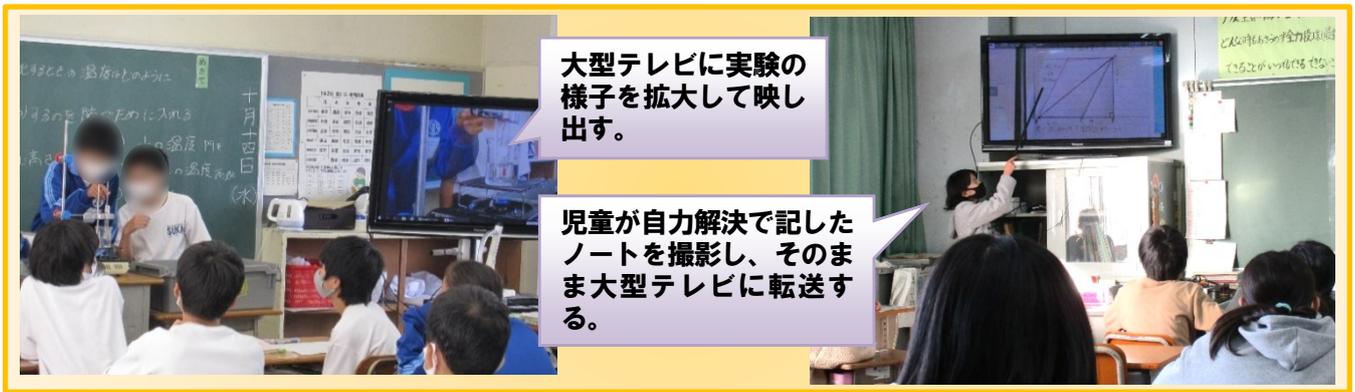
#### (1) ICT 機器活用の手段と活用例

ICT 機器活用の手段	ICT 機器活用例
①課題の提示	映像などのデジタル教材を提示し、児童に課題を発見させたり、課題意識をもたせたりする。
②動機づけ	児童が興味をもつ画像や、学習意欲がわくような説明資料を提示するなど、動機づけとして ICT を活用する。
③教員の説明資料	児童に配付した資料と同じ資料を拡大提示するなど、黒板で説明するかわりに ICT を活用する。
④学習者の説明資料	児童が作成した発表資料を、ICT を活用して拡大提示して発表する。
⑤繰り返しによる定着	学習動画などを繰り返し再生して、そのイメージを定着させる。
⑥モデルの提示	天体の運動、地球の内部の様子など、実物を見ることが難しいものをデジタル教材でモデル提示する。
⑦例の提示	実験の失敗例を見ることが危険であったり、コストや時間を要したりする場合に、デジタル教材で提示する。
⑧体験の想起	児童に共通した経験を映像で提示し、想起させる。
⑨比較	実物では比較が難しい2つ以上のものをデジタル画面で比較する。
⑩振り返り	授業で撮影した画像などを使って学習内容を振り返る。

#### (2) 授業における活用例

##### <大型テレビの活用>

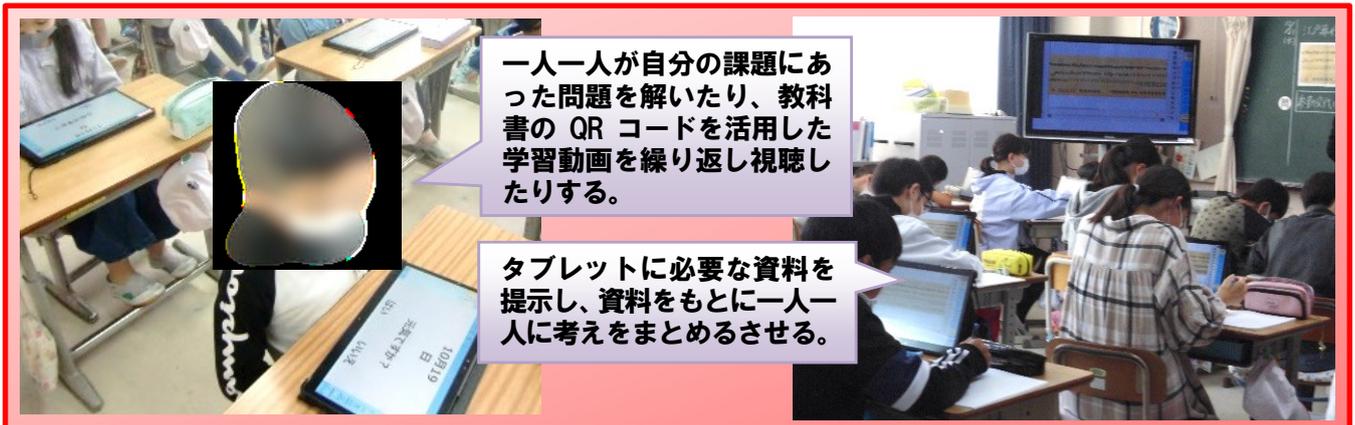




大型テレビに実験の様子を拡大して映し出す。

児童が自力解決で記したノートを撮影し、そのまま大型テレビに転送する。

<個別ニーズに合わせた学習>

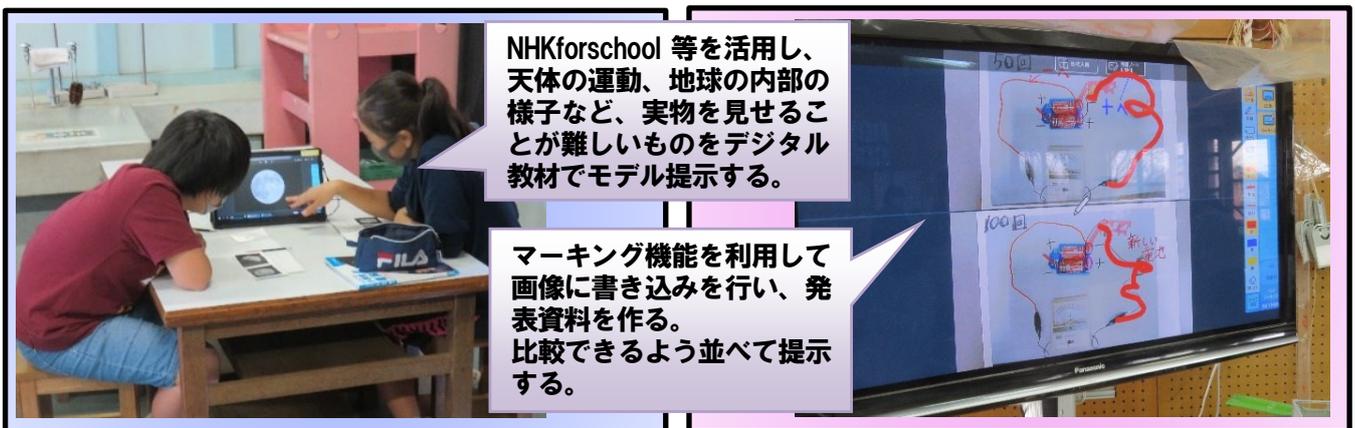


一人一人が自分の課題にあった問題を解いたり、教科書のQRコードを活用した学習動画を繰り返し視聴したりする。

タブレットに必要な資料を提示し、資料をもとに一人一人に考えをまとめるさせる。

<デジタル教材の活用>

<資料の作成・活用>



NHKforschool等を活用し、天体の運動、地球の内部の様子など、実物を見ることが難しいものをデジタル教材でモデル提示する。

マーキング機能を利用して画像に書き込みを行い、発表資料を作る。比較できるよう並べて提示する。

<その他の活用>

カメラ機能の活用・・・校庭の動植物を撮影し、特徴や変化を観察する。  
録音機能の活用・・・ALTの会話を録音し、わかるまで繰り返し聞く。

4 おわりに

学校におけるICT機器の活用は、児童生徒の学習意欲を喚起し、授業理解や学力向上に貢献できる手段の一つである。特にGIGAスクール構想において、PCを活用した教育活動が著しく増えてくることが予想される。それらの教育活動を魅力的に展開していくためには、指導していく教職員のICT活用技能の習得は必須であると考えられる。今後もICT機器を活用した授業実践が宮代町全体で展開できるよう、研究・研修に取り組んでいき、「児童生徒主体」のICT活用実践を推進していく。

また、今後、児童生徒がPC等の情報機器に触れる機会は大きく増えることが予想される。そのためにも、早い段階でも情報モラルに関する教育の充実にも取り組んでいく。